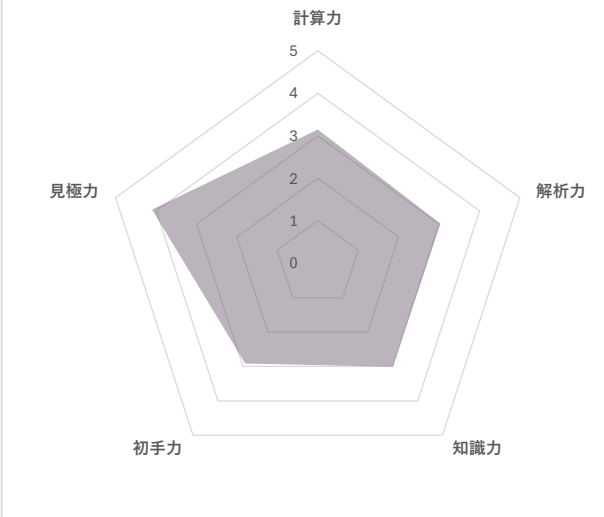


総合分析

試験区分 一般（後期）

制限時間 50分 大問数 全4問

合格に要する能力（5段階）



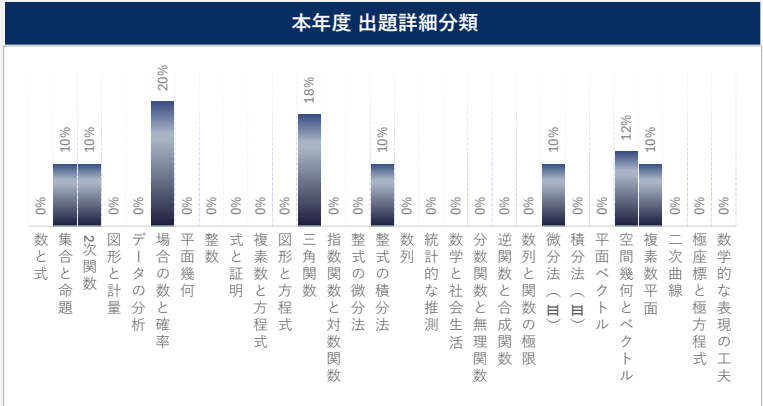
合格に要する能力（5段階）		
計算力	3.0	高度な計算をやり遂げる力
解析力	2.8	問題文を正しく読み取る力
知識力	2.8	解くことに必要な知識の量
初手力	2.7	初手の難しさ
見極力	3.9	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

出題分野	
数学 I	20%
数学 A	20%
数学 II	28%
数学 B	0%
数学 III	10%
数学 C	22%

本年度 解答形式
マーク 100%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	2つの2次関数で囲まれる面積
第2問	複素数平面と必要十分
第3問	空間ベクトル
第4問	確率



特殊問題の有無	記述なし	証明なし
統計なし	数IIIあり	長文なし

総合評価

難度	3.1	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	75%
分量	55分	完答に要する時間（制限時間は50分）	やや多い	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

- ▶ 使う知識は難しくないが、計算量が多い。面倒でも常に自力で求値しよう。
- ▶ 入試問題としてありふれた題材が多い。単純に演習量で十分に対策できる。
- ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておく。

入試から見る大学が求める学生像

前期試験に引き続き、標準的なレベルの問題であった。
大問3はやや計算が煩雑なものの医学部受験をする学生にとっては標準的であろう。
奇をてらった問題はないため、しっかりと基礎が定着しており処理能力の高い学生を求めていると考えられる。